

平成 1 5 年度 関西大学 研修員

研究助成課

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究目的
法	前期 1 名 後期 1 名の 2 名以内	教授	吉田 栄 司	H15.10.1 ～ H16.3.31	1 本学（法学部資料室、 総合図書館） 2 京都大学法学研究科 図書室 3 東京大学法学研究科 図書室 4 国立国会図書館	「行政責任」に関する論稿を完成させ、ついで従来から 取り組んできた議院内閣制にかかわる諸研究、とりわけ統 治機構論上の責任概念にかかわる研究につき、内外の状況 を整理してまとめ直す。 また、憲法一部人権論および憲法二部統治機構論の講義 経験を踏まえて、体系書執筆の前提作業を進める。
文	前期 2 名 後期 1 名 または、 前期 1 名 後期 2 名 の 3 名以 内	教授	藪田 貴	H15. 4.1 ～ H15.9.30	1 本学 2 東京大学資料編纂所 3 自宅	1 . これまで進めてきた近世大阪の武士研究をまとめ、著 書を出版する 2 . 科学研究費補助金の研究課題「明治前期日本女性史と アメリカ」について調査・研究をおこなう
		教授	橋本 征 治	H15.10.1 ～ H16.3.31	1 沖縄県立図書館 2 沖縄県農業試験場 3 岐阜県立森林文化ア カデミー 4 鹿児島県立図書館 5 大阪市立大学図書館 6 自宅	これまで進めてきたオセアニア、南西諸島を中心とする 農耕文化論的研究において、不足している地域と分野につ いて研究をおこなう。また、環境と観光にかかわる諸課題 についても文献研究と調査に関する理論的研究をおこな う。さらに、それらのベースとなるべき文化・社会地理学 的研究に関する理論的研究をおこなう。
		教授	吾妻 重 二	H15.10.1 ～ H16.3.31	本学（文学部、東西学 術研究所）	1 . 朱子学に関するこれまでの研究を補訂進展させ、博士 論文としてまとめる 2 . 馮友蘭『中国哲学史』下巻(展開篇)の翻訳を、上巻(成 立篇)に引き続き出版する 3 . 中国近代哲学について翻訳ないし論文執筆をおこなう。

年齢及び在職年数は、平成 1 5 年 4 月 1 日現在である。

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究目的
経	前期1名 後期1名の 2名以内	教授	林 宏 昭	H15. 4.1 ~ H15.9.30	本学	財政、税制、社会保障に関する実証的分析を長期的視野に立って、時間をかけておこなう。
		教授	樫原正澄	H15.10.1 ~ H16.3.31	本学	WTO体制下における農業・農政の変化をグローバルな視野から分析すると同時に、各国内における状況に関して、実証的・理論的に把握・解明する。
商	前期1名 後期1名の 2名以内	教授	廣田俊郎	H15. 4.1 ~ H15.9.30	本学（個人研究室、図書館、経済・政治研究所）	従来からおこなってきた イノベーション・マネジメントについての研究、サービス業の戦略とマネジメントに関する研究、経営戦略と組織の基本原則、などの諸研究を集中的にまとめる。
		教授	宇 恵 勝 也	H15.10.1 ~ H16.3.31	1 本学（法学研究所、個人研究室、図書館） 2 自宅	実質的要因と金融的要因の間の相互作用を重要視した経済変動の分析に関するこれまでの研究成果に基づき、マクロ動学理論の一層の展開を試みる。
社	前期1名 後期1名の 2名以内	教授	舟 場 拓 司	H15.10.1 ~ H16.3.31	1 本学（個人研究室、図書館） 2 大阪大学	1. 新しい計量経済学の考え方（特に非線形とノンパラメトリック）について勉強する 2. 教育と技術についてのデータベースを作成する。 3. 技術・教育と経済発展についての新しいモデルを勉強する。 以上、3つの目的を持って今後5年間程度の教育・研究の充実を目指し、論文を作成する
総情	前期1名 後期1名の 2名以内	教授	加 藤 敏 幸	H15. 4.1 ~ H15.9.30	1 本学（法学部園田寿教授研究室、図書館） 2 研究室 3 自宅	研究テーマである「コンピュータ犯罪」について、一層の研究を深めることによって担当科目の教育効果を高めることを意図して、現在インターネット犯罪に関する研究をおこなっている法学部園田寿教授のもとで研究・研鑽を積む。

年齢及び在職年数は、平成15年4月1日現在である。